

日本ファジィ学会 セミナー ご案内  
データの発見と活用のための技術 - ビジネス応用の視点から -

近年、電子化された膨大かつ多様なデータがネットワークを介して容易に入手可能となりましたが、ほとんどのデータは体系化されていない「放置データ」と化しているのが現状です。これらを活用し有用な知見を引き出すために、従来と異なる視点での解析技術が求められています。

日本ファジィ学会では、データの発見と活用のための技術に関するセミナーを開催致します。第一線でご活躍中の方々を講師とし、大量データから有用な知見を引き出すためのデータ・テキストマイニング技術、さらにはWeb等データの海の中から意思決定に役立つデータや入手先（コミュニティ）を効率的に発見するための先端技術の紹介など、様々な観点から分かり易くご講演を頂く予定です。

研究者・技術者の方のみならず、企画・財務・広告・マーケティングなどの部門の方々にも、今後のビジネス応用へのヒントを掴んで頂けるものと思います。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2002年7月24日（水）10：00～16：45  
会場：工学院大学 新宿キャンパス 1015 教室  
新宿駅西口から地下道により直結、徒歩4分

講師

- 「データマイニングの考え方と特色」  
岩崎学氏（成蹊大学 工学部経営・情報工学科）
- 「電子データに基づく自動与信システム」  
西川武一郎氏（(株)東芝 研究開発センター  
システム技術ラボラトリ）
- 「テキストデータを活用する最新技術」  
櫻井茂明氏（(株)東芝 研究開発センター  
知識メディアラボラトリ）
- 「Webにおけるコミュニティの発見」  
村田剛志氏（国立情報学研究所 情報学基礎研究系）
- 「チャンス発見：アクティブマイニングの最右翼」  
大澤幸生氏（筑波大学 社会工学系）

参加費、申込方法、講演内容の詳細については、下記案内をご参照ください。

日本ファジィ学会セミナー  
「データの発見と活用のための技術 - ビジネス応用の視点から - 」

主催：日本ファジィ学会関東支部

日時：2002年7月24日（水）10：00～16：45

会場：工学院大学 新宿キャンパス 1015 教室  
新宿駅西口から地下道により直結、徒歩 4 分

#### 講演スケジュール

10:00 11:00 「データマイニングの考え方と特色」  
岩崎学 氏（成蹊大学 工学部 経営・情報工学科）

近年のコンピュータの大容量化とネットワークの発展によって、大量のデータの蓄積によるデータベースの構築に加え、それらへのアクセスが容易になり、大量データの解析の必要性が増して来た。データマイニングは、いわゆるデータベースからの知識発見のための方法論として、近年脚光を浴びている。演者は統計学者として統計的データ解析に携わってきたが、本講演では、従前の統計的データ解析とデータマイニングの類似性並びに相違点を概説すると共に、種々の分野への適用例を示す。また、マイニング用のソフトウェアについても触れる。

11:15 12:15 「電子データに基づく自動与信システム」  
西川武一郎 氏（(株)東芝 システム技術ラボラトリ）

コンピュータの処理能力が飛躍的に向上し、他方、企業情報の電子的な蓄積が進んだことから、データマイニングに基づいた精度の高い倒産予測モデルの構築が可能となった。このことから、倒産予測モデルを使って省力化を行う動きが本格化してきており、専門化でなくてもある程度の評価が可能となってきている。本講演では、倒産予測モデルの現状と問題点、将来的なデータ活用の可能性について議論していきたい。

13:15 14:15 「テキストデータを活用する最新技術」  
櫻井茂明 氏（(株)東芝 知識メディアラボラトリ）

近年のコンピュータ環境の普及に伴って、膨大なテキストデータが蓄積され、テキストデータを処理するテキストマイニングに注目が集まっている。本講演では、テキストマイニング研究及び関連システムを広く紹介するとともに、我々が考えるテキストマイニングシステムを、営業日報分析問題、コールセンターメール分類問題への適用例を通して紹介する。

14:30 15:30 「Web におけるコミュニティの発見」  
村田剛志 氏（国立情報学研究所 情報学基礎研究系）

世界の Web ページの総数は数十億ページあると推定されており、その中から関連性のある Web ページ集合を発見することは、Web からの情報獲得を支援する上で重要である。本講演では、Web におけるコミュニティ発見の研究動向を紹介するとともに、ハイパーリンクによるグラフ構造に基づいて Web コミュニティを見出す方法について述べる。

15:45 16:45 「チャンス発見：アクティブマイニングの最右翼」  
大澤幸生 氏（筑波大学 社会工学系）

チャンス発見は、ビジネス意志決定において重要なできごとを発見し、これを実際の行動にむすびつける方法を考える、経営学・医療・Webマーケティングなど様々な領域と人工知能の境界を走る研究である。この講演では、これまでのチャンス発見の研究経緯と成果について述べ、日本のビジネスにおけるデータマイニングへの妄想に警鐘を示す。文部科学省特定領域「アクティブマイニング」において、チャンス発見からのこの警鐘は、最右翼に位置付けられる。

#### 講師紹介

##### ○岩崎学 氏

1952年生まれ。東京理科大学大学院理学研究科数学専攻修士課程から茨城大学工学部、防衛大学校数学物理学教室を経て現在に至る。理学博士。専門は統計的データ解析，特にコンピュータ利用の多変量解析法。日本統計学会理事，評議員，応用統計学会理事，評議員，編集委員など統計関係の学会の役職多数。厚生労働省中央薬事審議会専門委員。

##### ○西川武一郎 氏

1993年大阪大学理学研究科後期 課程卒業、同年、東芝研究開発センター入社。入社以来、ニューラルネット ワークシミュレータ、LSI コンパクタ、論理再合成などの研究に従事。特に数理計画法や、グラフ理論などを使った最適化手法の適用を行ってきた。現在、データマイニングを利用したリスク評価技術の研究にあたっている。博士(理学)。OR学会研究普及委員。

##### 櫻井茂明 氏

1991年東京理科大学大学院修士(数学)課程了。同年、(株)東芝入社。1998年から2年間、新情報処理開発機構つくば研究センタ出向。現在(株)東芝 研究開発センター，知識メディアラボラトリー，研究主務。入社以来、機械学習関連の研究開発に従事。現在、テキストマイニングシステムを研究開発中。博士(工学)。

##### 村田剛志 氏

1992年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。群馬大学工学部情報工学科講師などを経て、2001年より国立情報学研究所情報学基礎研究系助教授。同年より科学技術振興事業団さきがけ研究21研究員を兼任。専門はWebからの知識発見、発見システム、図による推論。

##### 大澤幸生 氏

1990年3月・東京大学工学部電子工学科卒業  
1992年3月・東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻 修士課程修了  
1995年3月・東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻 博士課程修了  
1995年4月～1997年3月・大阪大学助手 基礎工学部  
1997年4月～1999年3月・大阪大学助手 大学院基礎工学研究科  
1999年4月～現在・筑波大学助教授 社会工学系  
2000年10月～現在・科学技術振興事業団さきがけ21研究員を兼務

参加費（資料代含む）および申込方法

日本ファジィ学会 会員：5,000 円

日本ファジィ学会 非会員：10,000 円

学生：2,000 円

<事前申込>

氏名、所属、所在地、Tel、Fax、E-mail、参加種別（会員・非会員・学生）を明記の上、E-mail または Fax にて下記までお申し込みください。参加費は会場にて直接お支払い下さい。

(株)東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリ 愛須英之

E-mail:hideyuki.aisu@toshiba.co.jp

Tel:044-549-2408 Fax:044-520-1268

<当日申込>

当日直接会場にお越し下さい（参加人数によっては当日中に資料をお渡しできない場合も有り得ます）